ORDERVANE_

Quantower 向け大口取引検出

/

Lite — インストール・アクティベーション ガイド

ordervane.com

© 2026 OrderVane. All rights reserved.

目次

はじめる前に 3

ステップ 1 — Quantower の「Indicators」フォルダを見つける 3

ステップ 2 — Quantower を終了する 3

ステップ 3 — OrderVane フォルダをコピーする 3

ステップ 4 — Quantower を再起動する 4

ステップ 5 — OrderVane をチャートに追加する 4

ステップ 6 — ライセンスキーを入力する 4

ステップ 7 — 動作を確認する 4

クイックメニュー（チャート上） 5

バブルは約定、シェルフは価格帯 5

大口約定リスト 6

次のステップ 7

ライセンスとアクティベーション 7

新しいバージョンへの更新 8

アンインストール 8

トラブルシューティング 8

設定リファレンス 9

サポート 14

免責事項 14

OrderVane は、大口の機関投資家トレードが約定した瞬間に、お使いの Quantower チャート上でそれをフラグ表示します — どの市場にも自動で調整される適応型しきい値を備えています。攻撃的なテープをチャートに直接描画します。すなわち、大口トレードのバブル、アグレッション・クラスター、そしてアブソープション（吸収）です。

OrderVane は 分析・可視化 ツールです。注文を発注することはなく、売買シグナルを出すこともありません。すべてのトレード判断と執行は、お客様ご自身がお使いのブローカーで行います。

> 概要 — 所要時間およそ 3 分。 Quantower を終了 -> `OrderVane_Lite` フォルダを Quantower の `Settings\Scripts\Indicators` フォルダにコピー -> Quantower を再起動 -> ライセンスキーを貼り付け。詳しい手順は以下をご覧ください。

はじめる前に

以下が必要です。

- インストール済みの Quantower（無料版またはお使いのブローカー版。最新バージョンを推奨）。Quantower 1.144.4（ヘルプ -> バージョン情報）を基準に開発・テストしています。それより古いバージョンでも動作する場合がありますが、テストはしていません。
- Windows（Quantower デスクトップ版）。
- お客様の OrderVane ライセンスキー — 購入または無料トライアルの確認メールに記載されています。
- OrderVane のダウンロードファイル（`.zip` ファイル） — そのメール内のダウンロードリンクから入手します。`.zip` にはインジケーターと本ガイドが含まれています。
- 初回アクティベーションと再検証のためのインターネット接続。再検証はインジケーターの読み込み時と設定の変更時に行われます。

ステップ 1 — Quantower の「Indicators」フォルダを見つける

Quantower はカスタムインジケーターを `Settings\Scripts\Indicators` フォルダから読み込みます。標準的なインストールでは、次の場所になります。

```
C:\Quantower\Settings\Scripts\Indicators
```

Quantower のインストール場所が分からない場合: `Settings\Scripts\Indicators` を含む Quantower フォルダを探してください。

ステップ 2 — Quantower を終了する

必要であればワークスペースを保存してから、Quantower を完全に終了してください（チャートだけでなくアプリケーションを閉じます）。Quantower の実行中は、インジケーターファイルをインストールまたは置き換えることはできません。

ステップ 3 — OrderVane フォルダをコピーする

1. OrderVane のダウンロードファイルを解凍します。
2. `OrderVane_Lite` フォルダを、ステップ 1 の `Indicators` フォルダにコピーします。

最終的に、次のとおり正確なレイアウトになるはずです。

```
...\Settings\Scripts\Indicators\OrderVane_Lite\OrderVane_Lite.dll
```

> Windows の「ブロック」表示 — インターネットからダウンロードしたファイルに Windows が付ける印です。Quantower がインジケーターを読み込むのを妨げませんので、無視して構いません。解除する場合は `.zip` を右クリック -> プロパティ -> ブロックの解除 -> OK。

> ウイルス対策の注意 — 一部のウイルス対策ソフトや Windows SmartScreen が、新しく署名のない `.dll` を誤検知することがあります。OrderVane は安全です。隔離された場合は復元し、`OrderVane_Lite` フォルダーを除外に追加してください。

> ヒント — `Indicators` フォルダがまだ存在しない場合は作成してください。DLL はそれ専用の `OrderVane_Lite` サブフォルダ内に置いてください（そのまま直に置かないでください）。

ステップ 4 — Quantower を再起動する

Quantower を再び起動し、新しいインジケーターを検出させます。

ステップ 5 — OrderVane をチャートに追加する

1. 分析したい銘柄のチャートを開きます — たとえば CL 原油先物（例: CLEM26）。OrderVane は、トレード（time & sales）データを持つあらゆる時間足・あらゆる銘柄で動作します — CL に限りません。
2. チャートを右クリック -> Add indicator（インジケーターの追加）（またはツールバーのインジケーターアイコンをクリック）。
3. Custom -> OrderVane_Lite の下で OrderVane を見つけるか、検索ボックスに 「OrderVane」と入力します。
4. それを選択して確定すると、チャートに追加されます。

ステップ 6 — ライセンスキーを入力する

1. インジケーターの Settings（設定） を開きます（チャート上の OrderVane の名前を右クリック -> Settings、または歯車アイコンをクリック）。
2. License セクションで、お客様の License key（ライセンスキー） を貼り付けます。

入力すると、OrderVane はキーをオンラインで検証し、ロックを解除します。有効なキーが入力されるまでは透かし（ウォーターマーク）が表示され、OrderVane のマーカーは非表示のままになります（ローソク足とチャートは引き続き完全に使用できます）。

ステップ 7 — 動作を確認する

- チャートに `OrderVane Lite` で始まるネームバッジが表示されます。
- Settings 内の License status（ライセンスステータス） 行に、ライセンスが active（有効） と表示されます。
- 活発な市場では、オーダーフローのマーカーがテープ上に表示されます（大口トレードのバブル、アグレッション・クラスターのダイヤモンド、アブソープション・バー）。

これで準備完了です — OrderVane がチャート上でテープを読み取っています。

クイックメニュー（チャート上）

チャートの左端、上寄りの位置に小さなボタンがあります。クリックするとクイックパネルが開きます — Settings を開かずに画面を変える最速の方法です。グループは二つあります：テープマーカーの MARKERS と、ボリューム・シェルフの LEVELS です。マーカーのスイッチは次のとおりです。

- Big trade markers — 大口トレードのバブル
- Aggression clusters — アグレッション・クラスターのダイヤモンド
- Absorption — アブソープション・バー（横棒）

パネルには Lane stacking、Apply adaptive to markers に加え、最も頻繁に調整する設定のための [−]/[+] 数値コントロールも含まれます — バブル・クラスター・アブソープションの最小ボリュームと、マーカーを何本前のバーまで描くかです（0 ならすべて表示し、その場合ボックスは実際に読み込まれたバー数を示します）。

下の LEVELS グループはボリューム・シェルフを操作します：マススイッチ、Shelf strength（その価格がどれだけ異例であるべきか）、Shelf count と Label count（線とラベルをいくつ描くか）、Detect min と Show min（検出時と描画時の絶対ボリューム下限）、Shelf scales（三つの窓のうちいくつが一致すべきか）、Shelf label（ラベルが何を示すか）。

行をクリックすると切り替わります（チェックマークがオンの項目を示します）。パネルは作業中やチャートをパンしている間も開いたままです — もう一度ボタンをクリックすると閉じます。

パネル最上部に Symbol preset の行があります — クリックすると市場が展開します（CL / ES / NQ / GC / RTY / 6E）。選ぶとその市場の開始しきい値が即座に書き込まれ、● がどのセットか示します。その後に三つの出来高ステッパーのいずれかを操作すると、行は Custom になります — 数値がもうプリセットと一致しないからです。

これらは Settings と同じ項目を、より素早く切り替えられるものです。いつものように、変更されるのは表示だけで、注文には一切影響しません。

バブルは約定、シェルフは価格帯

バブルはすべて大口約定です — テープから取得し、実際に起きた価格と時刻に描画します（Time interval (sec) 内の連続約定は1つとして扱います）。ブローカーのティック履歴が届かない範囲にはバブルはまったく描かれません — Historical tick lookback (h) を参照。この空白は意図的です: OrderVane は推定値を約定の形で描きません。

それより古い区間を説明するのは ボリューム・シェルフ（Volume shelf levels）です — その周辺で取引された出来高のうち異例の割合を占めた価格です。OrderVane はその価格を、価格が戻ってくるまでチャートに残します：

- 実線 — まだ価格がその水準に戻っておらず、線は右端まで伸びます。破線 — 戻っており、線はその足で止まります。どちらでもシェルフは残ります：すでに試された水準にも知る価値があります。シェルフは時間経過では消えず、描ける本数を超えると古いものから外れます（Volume shelf max active）。Volume shelf extend past touch を有効にすると全ての線が右端まで伸びます — 見やすい代わりに線がローソク足を横切ります。 短い縦のティックがシェルフの始まりを示します。ティックのない線は画面の左外で始まっています。
- 色はその価格で多く取引した側です。両側が近い場合は中立のグレーのままになります — 拮抗した価格帯に主張できる方向はありません。
- ラベルは `762×438 30m 64%` と読みます: 左がビッド側（売り）、右がアスク側（買い）の出来高 — フットプリントのセルと同じ順序 — その次が勝った側の比率です。
  その足でその価格に大口約定が落ちていれば `●2` が末尾に付きます — そのシェルフを作ったプリント数で、大口が数件なのか小口の群れなのかを分けます。常に両側を示し、買いと売りがぶつかり合った価格帯も含みます。 2つの数値の後ろの `30m` は、その数値を集計した窓の長さです（30m / 60m / 4 h）。シェルフごとに窓が異なることがあるため、数値を比べる前に必ず確認してください。ラベルの先頭に `«` が付く場合、開始点が画面の左外にあることを示します。
- 太いほど、より多くの窓が確認したという意味です。 OrderVane は各水準を三つの窓（30・60・240 分）で同時に測り、線の太さはそのうち何本が異例と見なしたかに従います。三つ全てで際立つ水準は、一つの区間でしか現れない水準とは別物です。大きさ自体はラベルにあります。
- 同じシェルフがどの時間足でも同じ価格に立ちます。 測定はチャートの足をまったく使いません — 固定の5分ソースを読み、その上で三つの窓をスライドさせます。1分足から1時間足に切り替えてもシェルフは動かず、数値も変わりません。どこでも際立った水準だけを見たい場合は Volume shelf min scales がその本数の窓が確認したものだけを残します — 3 なら概ね三分の一が残ります。
- シェルフが実際に大きいことを要求もできます。 `Volume shelf min volume` が絶対下限（枚数）で、バブルの Min volume と同じ種類の数字です。既定では観測された平均から導かれ自動で適応し、値を入れるとその値が優先されます。強度設定は「そのウィンドウで異例か」を問い、この値は「そもそも大きいか」を問います。
- 「異例」とは、その水準が測定された窓の平均レベルに対して大きいという意味です（Volume shelf strength (x avg level)）— 比率なので、閑散な場でも活発な場でも同じ意味を持ちます。

チャート右上に小さな `> Legend` ピルがあります。クリックすると、今描画されているレベルの種類を名前で示すボックスが開きます — Lite ではボリューム・シェルフの 1 行だけです（この tier が描くレベルはそれだけです）。折りたたまれた状態で始まるので場所をほとんど取らず、Overlay legend (level types) で完全にオフにできます。

この tier が描くもの。 Lite はテープと、それが残したレベルです — 大口プリント、アグレッション・クラスター、吸収バー、ボリューム・シェルフ。バーの内側の bid × ask の数字 — フットプリント・セル、インバランス、POC、バリューエリア — は Pro にあります。セルを期待して見つからない場合、それは tier の違いであって不具合ではありません。各 tier にそれぞれ 14 日間の無料トライアルがあります。

シェルフはその価格で何が起きたかを記録します。価格がそこで反応するという予測ではありません。

大口約定リスト

チャート左のボタン列に、リストのアイコン(点3つと横線)のボタンがあります。押すと、そのチャートの大口約定を新しい順に並べた別ウィンドウが開きます。バブルが描くのと同じ約定(同じ最小サイズ・同じ読み込み済みの足)を最大500行まで表示します。もう一度押すとウィンドウが閉じます。

- 列 — TIME(お使いのPCの時刻。今日でなければ日付が付きます)、SIDE(B = 買い手が売り気配を取った、S = 売り手が買い気配を叩いた)、PRICE、SIZE。SIZE 内のバーはリスト中で最大の約定に対する大きさで、買いと売りの割合に分かれます。太字の数字はチャートの最小サイズの2倍以上です。
- ウィンドウを広げると列が3つ増えます — Δ%(約定のうち買い引く売りの割合)、BASIS(基準区間の全出来高に占めるこの約定の割合、Basis volume interval)、L2 %(その瞬間の反対側の板の待機数量に占めるこの約定の割合。リアルタイムの約定のみ、Level2 level count)。列の見出しにマウスを置くと説明が出ます。
- 行をクリック — チャートがそのバブルへ移動し、数秒間リングで示します(Highlight color)。上下の矢印キーで行を移るとチャートも追従し、Enter で選んだ行へもう一度移動、Home で最新へ戻ります。
- ツールバー — All / Buy / Sell、このリストの最小サイズ([−]/[+]。Shift を押すと10ずつ、マウスホイール、数字をクリックして直接入力。チャートのバブル最小サイズより下にはなりません)、ウィンドウを最前面に保つピン、最新の約定へ戻るボタン。
- ウィンドウを右クリック — Theme(Auto は Quantower に合わせる、Dark、Light、Slate、Terminal)、Always on top、Go to newest。ウィンドウは位置・サイズ・テーマ・最前面の設定を記憶します。

リストのウィンドウは一度に1つで、最後にボタンを押したチャートを表示します。ボタンを隠すには、クイックパネルの MARKERS グループか設定で Big trades list をオフにします。すぐ隣の Buy/sell split は、各バブルを買いと売りの割合に分けて描きます。

次のステップ

- 自分仕様にする。 OrderVane の名前を右クリック -> Settings で、マーカーのサイズ、色、サウンド、検出しきい値を調整できます。
- 設計上、表示専用。 OrderVane はオーダーフローを可視化します — 注文を発注したり、売買シグナルを出したりすることは決してありません。コントロールはお客様が握ります。
- お困りですか？ hello@ordervane.com までメールをお送りください — 喜んでお手伝いします。

ライセンスとアクティベーション

- 買い切り。 OrderVane は買い切り型です — サブスクリプションではありません。14 日間の無料トライアルをご利用いただけます。
- マシン紐付け。 ライセンスは 最大 2 台のコンピュータでアクティベートできます（例：デスクトップとノートPC）。アクティベーションは、キーを入力したマシンに紐付けられます。
- 接続性の猶予。 初回アクティベーションはオンラインで行う必要があります。その後は、短時間の接続断でロックされることはありません：インターネット接続がない場合、ライセンスは最後の検証成功から最大 7 日間は有効なままです。オンラインなのに当社のライセンスサービスに接続できない場合は、ソフトウェアは再試行を続けます。サービスに約 2 時間接続できないままのときにかぎり、サービスが復旧するまで一時停止します（チャート上の描画は非表示になり、通知が表示されます）。復旧すると自動的に再開します。
- 新しいコンピュータへの移行。 旧 PC で OrderVane の Settings を開き -> 「Release license from this PC（この PC からライセンスを解除）」（2 段階の確認あり）を実行すると、シート（枠）が解放されます。その後、新しいコンピュータでキーを入力します。
- キーは大切に保管してください — 購入または無料トライアルのメールに記載されています。

新しいバージョンへの更新

新しいパッケージが出ると、チャートのインジケーター名に ↑ Update available と表示されます。アップデートはライセンスに含まれます — 詳しい手順は ordervane.com/update にあります。

1. 注文ページから現在のパッケージをダウンロードします — 購入メールのリンクを開くか、app.lemonsqueezy.com/my-orders で購入時のメールアドレスを入力してください。
   このリンクは常に現在のパッケージを返します。購入した当時のものではありません。
2. Quantower を終了します。
3. 古い `OrderVane_Lite.dll` を新しいものに置き換えます（または `OrderVane_Lite` フォルダごと置き換えます）。
4. Quantower を再起動します。

お客様のチャート、レイアウト、OrderVane の設定は保持されます — インジケーターを再追加したり、ライセンスキーを再入力したりする必要はありません。

アンインストール

1. Quantower を終了します。
2. `...\Settings\Scripts\Indicators` から `OrderVane_Lite` フォルダを削除します。
3. Quantower を再起動します。

トラブルシューティング

症状	対処法
OrderVane がインジケーター一覧に表示されない	ファイルが `...\Scripts\Indicators\OrderVane_Lite\OrderVane_Lite.dll` にあることを確認し、Quantower を完全に再起動してください（チャートウィンドウだけでなくアプリを終了します）。
「Can't restore indicator」と表示される／再起動後に消える	DLL を（複製ではなく）置き換えたこと、そして完全に再起動したことを確認してください。それでも解消しない場合は、インジケーターを一度削除して再追加し、ワークスペースを保存してください。
透かしが表示される／マーカーが非表示	Settings に有効なライセンスキーを入力し、インターネット接続を確認してください（初回アクティベーションはオンラインです）。
「Activation limit reached（アクティベーション上限に達しました）」	そのキーはすでに 2 台のコンピュータで有効になっています。いずれかのマシンで 「Release license from this PC」 を実行するか、サポートにお問い合わせください。
アラートで音が鳴らない	サウンドはデフォルトでオンで、`Documents\OrderVane_Sounds\` に自動生成されます。Windows の音量と、OrderVane の Settings 内の Sound オプションを確認してください。

症状	対処法
Add を押しても何も起きない	v1.5 以降、チャートに理由が 1 行で表示されます。Quantower のバージョンに言及していれば Quantower を更新し（1.144.4 以上）、それ以外の場合はその行を hello@ordervane.com までお送りください。
ウイルス対策が DLL を検知/削除する	新しく署名のないインジケーターに対する誤検知です。隔離から `OrderVane_Lite.dll` を復元し、`...\Indicators\OrderVane_Lite` フォルダーを除外に追加してください。
マーカーが表示されない	銘柄にライブまたはヒストリカルのトレード（ティック）データ（time & sales）があることを確認してください。一部のマーカーは、表示に十分なトレード出来高を必要とします。

設定リファレンス

チャート上の OrderVane の名前を右クリック -> Settings。各オプションは、以下に記載のとおり正確にグループ分けされています。すべて表示専用です — OrderVane はオーダーフローを可視化するだけで、注文を発注したり、トレードシグナルを出したりすることは決してありません。新しい設定は新規インスタンスに適用されます。デフォルトは妥当に設定されているため、ほとんどのユーザーは色、サウンド、しきい値だけを調整します。

License

Setting	機能
License key	OrderVane をアクティベートするために、ライセンスキー（購入または無料トライアル）をここに貼り付けます。
License status (auto)	読み取り専用 — 現在のアクティベーション状況です。
Release license from this PC	このコンピュータのアクティベーション枠を解放します（新しい PC へ移行する際に使用）。
Confirm: release license now	安全のための 2 段階目 — 解除を実行するには、これも併せてチェックする必要があります。

Power Trades — 大口トレードエンジン

Setting	機能
Engine enabled (tick-based)	テープからの大口トレード検出のマススイッチ。
Time interval (sec)	複数のトレードを 1 つの大口トレードにまとめるためのウィンドウ（例: 0.10 秒）。
Big trade min volume	トレードのまとまりを大口トレード（バブル）と見なすための最小サイズ。
Bars to show (0 = all)	直近何本のバーまでマーカーを表示するか（0 = すべて。そのときは読み込み済みのバー数が表示されます）。
Volume shelf levels	周囲の出来高のうち異例の割合を占めた価格を示し、価格が戻るまでチャートに残します（既定でオン）。

Setting	機能
Volume shelf strength (x avg level)	水準がどれだけ異例であるべきか — その水準が属する窓の平均レベルに対して（3.0 = 三倍）。
Volume shelf max active	同時に描くシェルフの本数。超えた分は古いものから外れます。
Volume shelf labels	シェルフのラベルに何を表示するか: なし / 両側の出来高 / 両側の出来高＋勝った側の比率。
Volume shelf min volume (0=auto)	価格帯が超えるべき絶対下限（枚数）。0 なら観測された平均から導きます。
Volume shelf show min (0=auto)	シェルフを描くかどうかを決める閾値（枚数）。画面の混み具合を実際に決める設定で、検出されたシェルフの多くはここに届きません。0 で観測平均から自動算出します。
Volume shelf min scales (1-3)	三つの窓（30/60/240分）のうち何本が異例と見なすべきか。3 ならどこでも際立つものだけが残ります。
Volume shelf label max (0=all)	いくつのシェルフにラベルを付けるか。0 = 全て、数値なら新しい順。線は常に描かれます。
Volume shelf rolling window	オン：窓がデータに沿ってスライドします。オフ：固定格子のため境界にまたがるものが分割されます。
Volume shelf extend past touch	オフ：価格が戻った足で線が終わります。オン：全ての線が右端まで伸びます。
Overlay legend (level types)	現在描画されているレベルの種類を名前で示す小さな開閉式ボックス。既定でオン、`> Legend` ピルとして折りたたまれて始まるため、クリックするまで場所をほとんど取りません。
Parent-Order enabled	アイスバーグの補充・分割約定を1つの論理注文（P{N}）にまとめます。
Merge window (ms)	この時間内の近接した約定を1つの親にマージ。
Price tolerance ticks (0-5)	同じ親注文とみなす価格の許容範囲。
Show child count (P{N})	親バブルを構成する子約定の数を表示。
Sub-threshold filter enabled	しきい値未満のトレードを隠してノイズを削減。
Min trade size (1-500)	このサイズ未満の個別トレードを無視（セル・マーカー）。
Show markers	大口トレードのバブルを表示／非表示にします。
Big trades list	チャート左のボタン列にボタンを置き、チャートの大口約定を新しい順の表で開きます。行をクリックするとチャートがそのバブルへ移動します。

Power Trades (Advanced)

Setting	機能
Min delta filter (%)	フラグ表示の前に必要となる、買い／売りのインバランスの最小値。
Big trade min / max span (ticks)	まとめられた大口トレードがカバーしてよい価格レンジ。

Setting	機能
Min / Max trade volume	これらのサイズを下回る／上回る個別トレードを無視します。
Basis volume interval (sec)	出来高ベースラインの参照インターバル（上級者向け。0 = 無効）。
Single-print big trade min volume	単一トレードがそれ単独で大口と見なされるためのサイズ。
Max markers per bar (1-100)	1本の足に描画するバブルの最大数を制限。
Marker X at bar center	バブルを約定時刻ではなく足の中央に配置。
Detect single-print big trades	単一ティックの大口トレード検出を有効にします。
Historical tick lookback (h)	チャートを開いた際に、ティックを何時間さかのぼってスキャンするか。
History hours (broker fetch)	ブローカーに何時間分のヒストリーを要求するか。
Min aggression ticks (0=off)	トレードがこのティック数を貫いたときのみフラグ表示（0 = 無効）。
Min DOM pressure (0=off)	反対側にこれだけの板の残量があるときのみフラグ表示（0 = 無効）。
Cache retention days (0=all)	ローカルのトレードキャッシュを保持する期間（0 = すべて保持）。
Filter by basis ratio (%)	基準区間の全出来高に占める割合がこの値以上の大口約定だけを表示します(0 = オフ)。バブル・リスト・サウンドがすべて従います。
Level2 level count	リアルタイムの大口約定の瞬間に、反対側の板を何段まで数えるか(リストのL2 % 列)。

Big Trade Display — バブルの見え方

Setting	機能
Lane stacking enabled	重なり合うバブルを縦方向のレーンに振り分けます。
Max lanes per bar / min events	レーンの上限と、スタッキングを発動させるバブル数。
Display mode	バブルに合計出来高、または買い／売りの分割を表示します。
Shape type	バブルの形状（Circle など）。
Bubble size min (px) / Bubble size max (px)	バブルの最小／最大サイズ。
Buy color / Sell color	買い／売りのバブルの色。
Show volume label	バブル内に出来高の数値を表示します。
Sizing mode	サイズのスケーリング: Auto（画面内）、Auto（全履歴）、または Custom。
Bubble buy/sell split	勝った側の1色の代わりに、各バブルを買いと売りの割合に分けて描きます。
Bubble coloring	By delta = 勝った側の色。Single color = すべてのバブルを1色に — 大きさだけが目立ちます。

Setting	機能
Bubble single color	Bubble coloring が Single color のときのバブルの色。
Highlight color	大口約定リストで選んだバブルを囲むリングの色。

Adaptive Threshold — 市場ごとに「大口」を自動調整

Setting	機能
Threshold enabled	直近のアクティビティから「大口トレード」のサイズを算出し、チャート上に Adapt N として表示します。
Apply adaptive to markers	オン: バブルが適応サイズを使用します（より少なく、より大きなトレードのみ — 市場の変化に合わせてチャート全体が再フィルタリングされます）。オフ: Adapt N の値は参考表示のみとなり、バブルは固定値の Big trade min volume を使い続けます。
Lookback days (3-30)	しきい値の算出に使うヒストリーの日数。
Factor (0.1-3.0, step 0.05)	しきい値への乗数。低いほどバブルが増え、高いほど最大級のものだけになります。（例: Adapt ≈ 270 のとき、Factor 1.0 -> 270、Factor 0.5 -> ≈ 135。）

3 つの使い方（上記 2 つのトグルを組み合わせます）：

1. Fixed（固定） — Threshold enabled オフ。バブルは Big trade min volume を使用し、Adapt 値は表示されません。
2. Show only（表示のみ）（既定） — Threshold enabled オン、Apply adaptive to markers オフ。Adapt N
   の値が参考としてチャートに表示されますが、バブルは引き続き固定サイズを使用します。
3. Adaptive（適応） — 両方オン。バブルは適応サイズ以上のトレードのみを表示し、市場の変化に合わせてチャート全体が自動的に再フィルタリングされます。Factor で厳しさを調整します。

> ティックログがオフでも動作します — 適応サイズは検出済みの大口トレード履歴から導出されます。

Aggression — クラスター（ダイヤモンド）マーカー

Setting	機能
Aggressor mode	買い／売りサイドの判定方法: BidAsk、Tick、または Adaptive。
Aggression cluster detection	急速な同一サイドのアグレッションのクラスタリングを有効にします。
Idle timeout ms	これより長い停止でクラスターを終了します。
Finalize on price change	価格が動いた時点で、現在のクラスターを確定（終了）します。
Cluster min volume	クラスターを表示するための最小合計サイズ。
Side filter	買い、売り、または両方のクラスターを表示します。
Cooldown ms (0=off)	クラスターマーカー間の最小間隔。

Setting	機能
Aggression cluster markers	ダイヤモンドのクラスターマーカーを表示／非表示にします。

Absorption — 横方向のアブソープション・バー

Setting	機能
Absorption show on chart	アブソープション・マーカーを表示／非表示にします。
Absorption min volume	フラグ表示するための、ある価格で吸収された最小出来高。
Absorption max range (ticks)	アブソープションと見なすために、価格がどれだけ狭く保たれる必要があるか。
Absorption min prints	そのレベルに積み上がるトレードの最小件数。
Absorption side	買いサイド、売りサイド、または両方を表示します。
Absorption DOM confirm (live)	マークを強化する、板（order-book）の待機注文の厚み（ライブのみ）。
Absorption show volume	吸収された出来高のラベルを表示します。
Absorption buy / sell color	買いサイド／売りサイドのアブソープションの色。
Absorption stack zone	近接価格の同方向アブソープションバーを一つのゾーンにまとめます（`Abs▲ ×N` / `Abs▼ ×N` 表記）。過去のバー上は境界線のみ、右側への投影は斜線で描き、確定バーがゾーンの反対側を突き抜けるとフェードして消えます。
Absorption stack min count	ゾーンを描くのに必要なアブソープションバーの本数。
Symbol preset (apply on close)	市場ごとの開始しきい値（ワンショット）：CL / NQ / GC / RTY / 6E（または ES 既定値）を選び、設定ウィンドウを閉じてください — Quantower はウィンドウを閉じる時に編集内容を確定するため、そのタイミングでビッグトレード・クラスター・アブソープションの出来高しきい値が変わります。その後ドロップダウンは None に戻ります。RTY と 6E は開始値が同じため一つの項目です。日次出来高で換算した出発点であり、測定された最適値ではありません — チャートを見て調整してください。より速い経路： 同じプリセットがチャート上のクイックメニュー最上部にあり、そちらでは選んだ瞬間に適用されます。

Sounds — オーディオアラート

Setting	機能
Sound enabled	アラートサウンドのマススイッチ。
Sound volume (1-10)	アラートの音量。
Buy / Sell sound	買い／売り大口トレードのサウンドファイル（存在しなければ自動生成）。
Sound cooldown (ms)	サウンド間の最小間隔。
Cluster sound enabled	クラスター発生時の別個のサウンド。
Cluster buy / sell sound	買い／売りクラスターのサウンドファイル。

View & Timeframe Visibility（Quantower 内蔵）

Setting	機能
Position on chart	チャート上に重ねて描画するか、別パネルに描画するか。
Use indicator values in 'Auto' scaling	OrderVane がチャートの自動スケーリングに影響を与えるかどうか。
Timeframe Visibility (Seconds ... Years)	チェックを入れた時間足の範囲でのみ OrderVane を表示します。

サポート

- Website: https://ordervane.com
- Email: hello@ordervane.com

免責事項

OrderVane は分析・可視化ツールです。投資助言ではなく、トレードシグナルを提供することはなく、注文を発注することもありません。先物、CFD、FX の取引には、当初預託金を上回る損失を被る可能性を含め、多大な損失リスクが伴います。マーケティングで示されるシミュレーションやバックテストの統計は仮定的なものであり、ヒストリカルデータに基づくものであって、将来の成果を保証するものではありません。すべてのトレード判断および結果について、お客様が単独で責任を負います。完全な条項については、https://ordervane.com/eula のエンドユーザー使用許諾契約（`OrderVane_EULA.pdf` としても同梱）をご覧ください。